

京にかける橋

— 川俣正 夢浮橋 ワーク・イン・プログレス 2022 —

● 橋の模型制作見学会

2022.9.27 (tue.) 10:00-16:00

京都市京セラ美術館 京セラスクエア (エントランス前) 無料・予約不要

※ 伝統的建築工法「番線組」で組み立てられる足場丸太の橋の実物大模型制作の様子をご自由にご覧ください。

※ 橋の設置期間は9月27日(火)から10月2日(日)です。

● シンポジウム

2022.9.30 (fri.) 17:00-20:30 (16:30開場)

京都市京セラ美術館 地下1階講演室 参加費無料・事前予約制

※ ご予約は[こちら](#)からお申し込みください。

[プログラム]

- 17:00-18:30 第1部 シンポジウム「なぜ京都にアートの橋をかけるのか」
パネリスト 川俣正 (美術家)、クレリア・ゼルニック (パリ国立高等美術学校 教授)
コーディネーター 岩崎陽子 (Perfume Art Project 代表)
- 18:30-18:45 —休憩—
- 18:45-20:30 第2部 座談会「フランスの現代アートシーンについて—学生の視点から—」
プレゼンター Cléo Verstrepen、Thomas Vauthier、Fanny Terno
モデレーター Clélia Zernik



なぜ橋は存在するのでしょうか。
そもそも橋は「こっち」と「あっち」の間の越えがたい境界を前提としています。
両者の間には川、谷、海、その他の有象無象の深淵が横たわっているのです。
これらを架け渡して往来を可能にするために橋はあります。

京都にもあちこちに目に見えない「うち」と「よそ」の区切りがあります。
目に見えるものだけではなく、目に見えない境界をどのようにつなぐことができるでしょうか。
「うちら」と「よそさん」の行き来は可能（必要）でしょうか。
アートの橋に何ができるのでしょうか。

キュレーター：岩崎 陽子

京にかける橋

2019年にスタートした川俣正による「夢浮橋 ワーク・イン・プログレス」

プロジェクト。今年は京都市京セラ美術館のエントランス前に、美術館に向けて巨大な橋が出現します。近い未来、京都・鴨川に期間限定のアートの橋「夢浮橋」を架けることを目標として漸進的に進められているこのプロジェクトについて、川俣正が語ります。同時にパリ国立高等美術学校での川俣正のかつての同僚であり、日仏のアートプロジェクトに造詣の深いクレリア・ゼルニックとフランスの学生3人を迎え、日仏のアートシーンの状況とこのプロジェクトの持つ意味について語り合います。(逐次通訳あり)

● パネリスト

第1部 17:00-18:30 シンポジウム「なぜ京都にアートの橋をかけるのか」



川俣 正 / Tadashi Kawamata

美術家。28歳の若さでヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、その後もドクメンタ、ミュンスター彫刻プロジェクトなどの国際展にて高い評価を獲得し、1998年に東京芸術大学先端芸術表現科の設立に主任教授として参画した。2006年以降、活動の拠点をフランス・パリに移し、パリ国立高等美術学院にて教授職に就き、現在はアーティストとして欧州を拠点に精力的な活動を展開する。彼の仕事に関わっていく分野は、建築や都市計画、歴史学や社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ。



クレリア・ゼルニック / Clélia Zernik

パリ国立高等美術学院 教授。専門は現代哲学、芸術哲学。現代アート論のみならず黒澤明の映画研究も行っている。



岩崎 陽子 / Yoko Iwasaki

嵯峨美術短期大学 准教授。専門はフランス美学、香りのアート。2015年よりPerfume Art Projectとして日仏学生交流を主催。

第2部 18:45-20:30 座談会「フランスの現代アートシーンについて—学生の視点から—」

Cléo Verstrepren (パリ第8大学博士課程 美学・芸術学)

Thomas Vauthier (エクス＝マルセイユ大学博士課程 アーティスト・研究者)

Fanny Terno (エクス＝マルセイユ大学博士課程 アーティスト・研究者)



川俣 正《鴨川に架ける橋 エスキース》2019年



川俣 正《橋の模型》2020年



日仏学生橋の模型作成ワーク 2021年



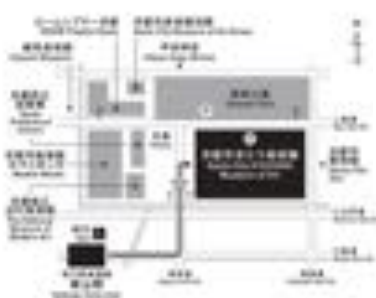
川俣 正《夢浮橋 試作》(俯瞰) 2021年



川俣 正 レクチャー 2021年



川俣 正《夢浮橋 試作》(地上) 2021年



京都市京セラ美術館

〒606-8344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町124

9/27(火)

橋の模型見学会 京都市京セラスクエア(エントランス前)

9/30(金)

シンポジウム 京都市京セラ美術館 地下1階講演室

アクセス

- 電車
地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分
京阪電車「三条駅」地下鉄東西線「三条京阪駅」より徒歩約16分
- バス
「京都駅」から
A1のりば 5系統・D2のりば 86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」
阪急「京都川原町駅」から
Eのりば 46系統・Hのりば 5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」
京阪「三条駅」から
Dのりば 5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」

ニュー・ブランシュKYOTO 2022プログラム

主催 川俣正「夢浮橋 ワーク・イン・プログレス2022」実行委員会
MUZ株式会社

助成 ボーラ美術振興財団、笹川日仏財団、花王芸術・科学財団

協賛 DMG森精機株式会社

共催 アンスティチュ・フランセ関西

協力 京都市京セラ美術館、パリ国立高等美術学校